

2025年度 解答速報

上智福岡中学校入試【国語】

2025年 1月14日実施

国語

- ☐ 問一 1 ウ 2 ア 3 エ 4 イ
問二 エ 問三 A 祖先から引き継いだ（祖先から受け継いだ） B 努力
問四 ア
問五（1）何ができて、何ができないのかを見極める
（2）（例）学校でたくさんの勉強や経験をして、自分の才能を組み合わせで伸ばしていくこと。
問六 イ
問七（例）苦手な科目も勉強しておけば、そのときはわからなくても、後から勉強しようと思った時に、勉強しなかった人よりも早く理解できるということ。
- ☐ 問一 ウ 問二 ウ
問三 ア ○ イ × ウ × エ ○ オ × カ ○
問四 ア
問五（例）愛結ちゃんに嫌な思いをさせられている朔の事情を確かめることなく、友だちと仲良くするべきだという正論で朔の感情のはけ口を封じたこと。
問六（1）（例）朔が、周囲の人間に理解されずに傷つくこと。（2） イ （3） ガラス戸か
- ☐ 問一 ① 收拾 ② 疑（い） ③ 険（しい） ④ 専門 ⑤ 輸血
⑥ 存在 ⑦ 厚（い） ⑧ 評価 ⑨ 貸（す） ⑩ 操（る）
問二 ① イ ② ア ③ ア ④ ウ ⑤ イ

【講評】

大問1は稲垣栄洋『ナマケモノは、なぜ怠けるのか？』からの出題で、説明的文章であった。著者の作品は、中学入試に頻出である。遺伝子を「冷蔵庫の中身」にたとえて、「勉強」を説明する内容であった。記述問題は2題出題されたが、ともに比喻表現がたとえている内容を問うもので、難しかった。大問2は寺地はるな『わたしの良い子』からの出題で、文学的文章であった。こちらの著者の作品も、中学入試に頻出である。周囲の人間と比較し、子どもに我慢を強いていた主人公が、「守るべきものの優先順位を間違えないこと」の大切さに気付く場面であった。問3の登場人物の心情を問う正誤問題は、まぎらわしい選択肢もあり、難しかった。問5の記述問題も、抽象的な内容を問われており、難易度は高い。大問3は知識事項（漢字と敬語）の出題で、比較的取り組みやすい内容であった。昨年より記述問題が減ったこと（8題→4題）が目立つが、全体の難易度としては、昨年並みだと思われる。